



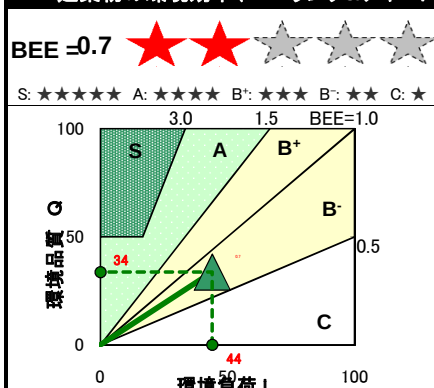
新築[簡易版]

評価結果

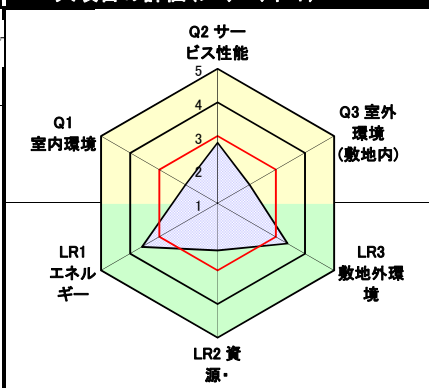
■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)新堀川計画	階数	地上5F	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建設地	京都府京都市伏見区	構造	S造	
用途地域	準工業地域、	平均居住人員	1,728 人	
気候区分	地域区分V	年間使用時間	4,745 時間/年	
建物用途	集会所、工場、	評価の段階	竣工段階評価	
竣工年	2010年3月 予定	評価の実施日	2009年3月30日	
敷地面積	11,919 m ²	作成者	(株)大道建築設計事務所 楊井 裕美	
建築面積	7,125 m ²	確認日		
延床面積	31,718 m ²	確認者		

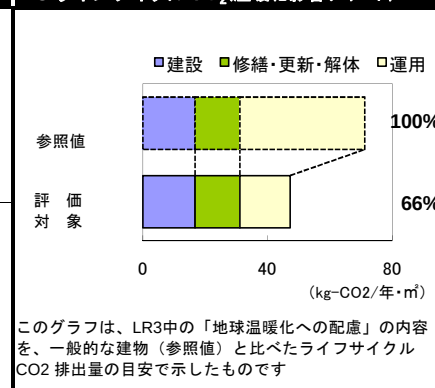
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



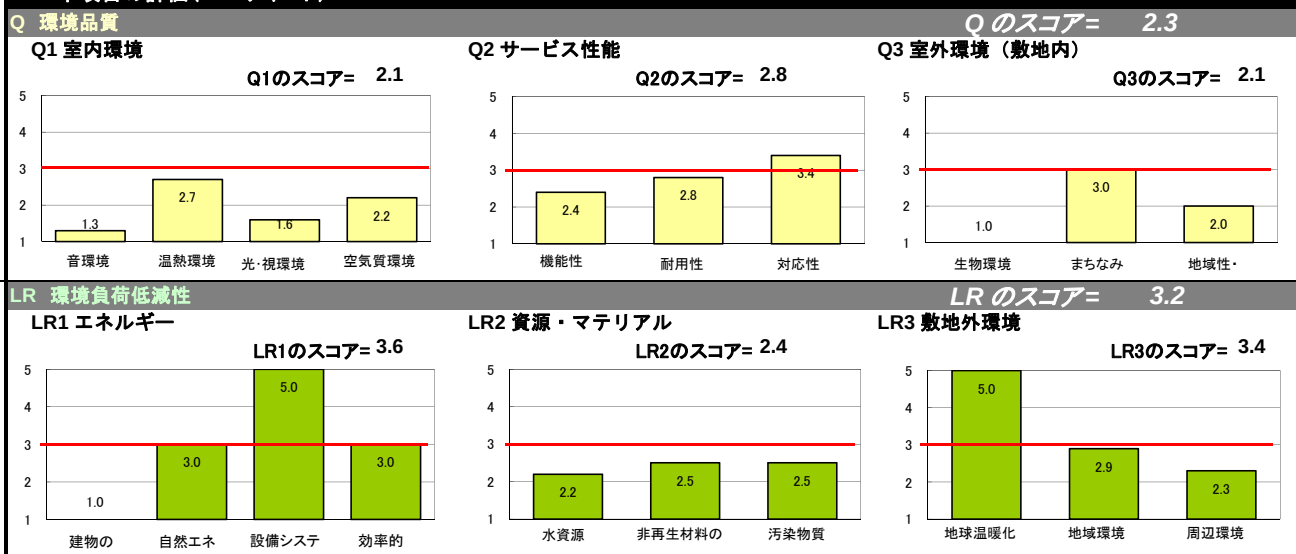
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合			その他
			0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 空間を広く感じるよう、階高および一人当たり専有面積にゆとりを持たせた。	Q3 室外環境(敷地内) 隣地・道路に接する場所をできるだけ緑化するよう努めた。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・材料	LR3 敷地外環境 駐車が敷地内に収まるように十分な駐車台数を確保した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される